

計画の性格

「大分県長期総合計画」の教育部門の実施計画であり、当該部門の内容と合わせ、教育基本法第17条第2項に基づく「教育振興基本計画」

計画の期間

令和7年度（2025年度）～ 令和15年度（2033年度）〔9年間〕

1. 「教育県大分」の創造に向けて

◆教育改革の経緯

○教員採用選考試験等をめぐる不祥事(H20)を踏まえた、教育行政システム改革や学校改革

▶教員採用選考試験と管理職選考の見直し、人事管理システムの導入、教職員人事の一元化
▶校長のリーダーシップの下、全ての教職員が目標達成に向けて組織的に教育活動に取り組む「芯の通った学校組織」の構築 など

○学校における働き方改革や校務のデジタル化など、現代的課題に対応した改革



→ 学校の課題解決力の向上、学力や体力など**子どもの力の向上**

→ **教育を取り巻く時代の潮流も踏まえ**、これまでの取組の継続・深化とともに、**複雑・困難化する教育課題への的確な対応**が必要

◆時代の要請や潮流の変化

○人口減少や産業構造の変化に対応した**持続可能な社会の創り手の育成**

○**教育を通じた個人の幸せとより良い社会（ウェルビーイング）の実現**

○先端技術を活用した教育DXの推進

○多様性を認め合う誰一人取り残されない社会の実現

○発生が懸念される大規模自然災害や事件・事故への対応

基本理念

変化の激しい社会を生き抜く力と意欲を育む「教育県大分」の創造

⇒ 全ての子どもたちが、変化が激しく将来の予測が困難な社会を生き抜くことができるよう、「大分県長期総合計画」に基づく**7つの基本目標**の下、**20の施策**を計画的・総合的に推進

※子どもたちに、学力や体力に加え、未来を切り拓く意欲やグローバルに活躍する力などを総合的に育むことにより、一人一人の豊かで幸せな人生の実現と、主体性や創造力などを備えた持続可能な社会の創り手の育成を目指す

⇒ 基本理念の実現に向け、全施策を貫く**重点視点**として「『リアル×デジタル』の最適な組合せによる教育効果の最大化」を設定

※1人1台端末やAIなどの先端技術を積極的に活用し、リアル（対面による授業や体験活動）とデジタルを適切に組み合わせることにより教育効果の最大化を目指す

◆施策の総合的推進のために必要な視点

○人権教育

○インクルーシブ教育

○持続可能な開発のための教育（ESD）

○グローバル人材育成

○誰一人取り残されない学びの実現

○学校における働き方改革

○県民総ぐるみの教育

2. 施策（主な内容）

学校教育

基本目標1 学びを保障し、可能性を引き出す学校教育の推進

①確かな学力の育成

- ・学習にかかる個別の支援や一人一台端末を活用した家庭学習の充実
- ・問題解決的な展開による学習活動の充実、ICTの効果的な活用による指導方法の工夫改善
- ・経験の浅い教員への支援等を通じた授業力向上



O-laboにおける
子どもの科学体験活動

②豊かな心の育成

- ・教育活動全体を通して取り組む道徳教育・人権教育の推進
- ・デジタル社会に対応した読書環境の整備、小・中学生向け科学体験活動の充実

③健やかな体の育成

- ・より良いスポーツ環境の確保・充実に向けた運動部活動の地域移行の推進
- ・感染症への早期対応の徹底など学校保健の充実
- ・望ましい食習慣の確立に向けた、家庭・地域との連携・協働による食育の推進

④幼児教育の充実

- ・幼・小の円滑な接続に向けた架け橋期の教育の充実、関係機関との連携・協働による切れ目のない支援

⑤高校教育の充実

- ・スクール・ミッション、スクール・ポリシーに基づく資質・能力の育成
- ・遠隔教育の「大分モデル」等、次世代型の教育システムの構築、魅力・特色ある高校づくりの推進



高校における遠隔授業

⑥特別支援教育の充実

- ・障がいの有無にかかわらず、共に学ぶことができる環境整備の推進
- ・一貫した教育的支援や、社会的・職業的自立に向けた個別的教育支援計画の作成促進

基本目標2 社会の変化に対応する教育の展開

①イノベーションを担う人材の育成

- ・先端技術の活用など教科の枠にとられない横断的な学びの充実
- ・DXハイスクールやSSHを核としたデータサイエンス等を活用する力の育成
- ・ICTを活用した主体的に学習できる環境の構築、産業界や高等教育機関等との連携

②グローバル人材の育成

- ・世界で活躍する人材に触れる機会の充実、訪日教育旅行団との学校間交流
- ・郷土学習等による大分や日本への深い理解の推進、小中高を通じた英語4技能の育成

③主体的に社会の形成に参画できる人材の育成

- ・実社会や実生活の課題を主体的にとらえ、考え、行動することで解決する力を育む、教科等横断的な学習の推進
- ・各学校段階を通じた系統的・体系的なキャリア教育の充実、起業体験活動の推進
- ・教育活動全体を通じた主権者意識の涵養



産業界との連携による
インターンシップ

④DXの推進によるきめ細かな教育の展開

- ・1人1台端末の着実な更新、AIドリル等のデータを活用した個別最適な指導の充実
- ・先端技術の利活用による創造性を育む学びや校務の効率化



アバター操作体験及び
水族館体験学習

基本目標3 安全・安心で質の高い教育環境の確保

①いじめ・不登校対策の充実・強化

- ・日常的な挨拶や声かけなど子どもの成長・発達支援を通じた未然防止の徹底
- ・1人1台端末を活用した子どもたちが抱える不安や困りの早期認知・早期対応
- ・補充学習教室やICTの活用による学習など個に応じた効果的な支援の充実

②安全・安心な教育環境の整備

- ・デジタル技術を活用した安全教育の実施、外国籍の子ども等の学びの充実
- ・ヤングケアラーや貧困など困難な家庭状況に左右されない学びの保障に向けた、関係機関との連携強化

基本目標4 信頼と対話に基づく学校運営の実現

①学校マネジメントを活用した組織的な取組

- ・学校評価との連動による、教育目標等の達成に向けた組織的・継続的な検証・改善
- ・学校・地域の目標の達成や課題の解決に向けた学校・家庭・地域の協働

②教育指導体制の充実・強化

- ・優れた教員の確保に向けた、高校生に対する教職の魅力発信や意欲喚起
- ・先端技術を活用した業務効率化、学校部活動の地域移行の着実な推進

2. 施策（主な内容）

社会教育

基本目標5 共に学び支え合う社会の実現に向けた教育の推進

①生涯学び、活躍できる環境の整備

- ・ライフステージに応じた学びなど多様な県民ニーズに対応した学習機会の提供
- ・成長分野における人材育成など、大学等との連携による実践的なリカレント教育の充実
- ・デジタル技術を活用した個人の学習履歴の可視化とその活用に向けた取組の推進

②地域コミュニティの基盤を支える社会教育の推進

- ・地域コミュニティの活性化に向けた子どもの学びの支援への地域人材の参画・協働の促進
- ・子どもの文化・スポーツに親しむ機会の確保に向けた環境の整備充実
- ・家庭教育を支援するための職場環境づくりに取り組む企業等への啓発



放課後・休日の子ども体験活動（陶芸教室）

文化財・伝統文化

基本目標6 文化財・伝統文化の保存・継承と魅力発信

①文化財・伝統文化の保存・継承と魅力発信

- ・文化財・伝統文化の保存に向けた、デジタル技術やネットワーク技術の活用
- ・保存技術講習やデジタル映像化等を通じた後継者の育成
- ・ウォーキング・ツアーやフォトコンテストなど魅力を体感できる機会の充実



おおいた文化財ずかん

スポーツ

基本目標7 ライフステージに応じた県民スポーツの推進

①生涯にわたってスポーツに親しむ機会の充実

- ・県民すこやかスポーツ祭など多世代の県民が参加できるスポーツイベントの充実
- ・専門人材を活用した健康相談機能の充実、健康経営事業所認定制度を活用した事業所ぐるみの健康づくりの推進
- ・よりよいスポーツ環境の確保・充実に向けた、地域スポーツクラブの活用



総合型地域スポーツクラブ活動（大分川カヌー体験）

②県民スポーツを支える環境づくりの推進

- ・プロスポーツチーム等の地域資源の活用によるスポーツに親しむ機運の醸成
- ・専門性のある質の高いスポーツ指導者の養成・確保

③世界に羽ばたく選手の育成

- ・優れた資質を有するジュニア選手の発掘に向けた競技体験機会の充実と一貫指導体制の構築
- ・動作分析や選手のコンディション情報の把握など、強化活動におけるICT活用の推進
- ・優秀選手と県内企業のマッチング支援など安心して競技を続けられる環境の整備



競泳（平泳ぎ）渡辺一平選手（TOYOTA）
@picsport_japan

3. 計画の進行管理

◆計画の進行管理

- 本計画の施策ごとに、毎年進捗状況や課題等を整理
- 有識者による計画の進捗状況等に関する審議（大分県長期教育計画委員会）
- 教育委員会が点検・評価の総括を行い、報告書を決定（県議会に報告）
- 翌年度の県教育委員会の重点方針・取組等に反映

◆大分県長期教育計画委員会

- 学識経験者や保護者代表等の外部有識者で構成
- 大分県長期教育計画の策定（見直し含む）
- 当該計画に基づき推進する施策の達成状況の検証